

平成21年度事業計画書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

[基本方針]

社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構の役割と使命は、医学・歯学等の医療関係大学において、態度・技能・知識について評価試験を実施し、医療人としての適性と能力を全国的に一定水準に確保することにある。このために、医学・歯学等の専門領域ごとに大学・学部間で共通の評価試験を実施するとともに、評価基準と成績の向上を目指すことにより、広く医療関係者と一般社会の理解を得ながら、国際的にも遜色のない優れた医療人の育成に貢献しようとするものである。

この基本方針を達成するため、下記事業を実施する。

[主な事業]

1. 共用試験CBT関連事業

- (1) 平成20年度までに新たに追加され蓄積されたプール問題を用いて、ランダム出題方式による医学系と歯学系大学で試験を実施する。実施にあたっては、十分な事前説明を行い、本法人からモニターを派遣し、適正な試験の実施を確認する。
- (2) 受験学生の試験成績は各大学ごとに返却するとともに、全体成績及び分析結果を公表する。試験問題と試験成績は本法人において厳重に管理し、詳細な統計分析を行う。
- (3) プール問題の蓄積と入れ替えのために各大学に新規問題作成を依頼するとともに、本法人においても新規問題の作成を行う。作成された新規問題を本法人でブラッシュアップ作業を行う。

また、試験実施後に各試験問題の評価を実施し、優れた問題の継続的な蓄積を行う。

2. 共用試験OSCE関連事業

- (1) 医学系と歯学系の評価項目・評価表・評価基準等の標準化及び改善を進める。実施にあたっては、本法人からモニター及び外部評価者を派遣し、適正な試験の実施

を確認すると同時に各大学の試験実施体制の改善を支援する。また、実施日程を調整し、実施に関する大学間の協力を支援する。

- (2) 各大学から提出された試験成績をもとに全体の成績と統計処理結果を公表する。
また、評価者の育成を図る。

3. 調査研究・開発事業

(1) 調査研究事業

- ① 医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムの到達目標と共用試験内容の整合性について検討する。

また、モデル・コア・カリキュラムの改訂に伴うCBT、OSCEの対応について検討するとともに、文部科学省が中心となって構築する医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する恒常的な体制に協力し、調査・研究を行う。

- ② CBT試験問題の形式と内容及びOSCE課題と評価方法等の改善のための調査・研究を行う。

(2) 開発事業

- ① CBT問題作成及び問題修正ソフト、システムチェックソフト、試験実施ソフト、成績管理ソフト等についての継続的な改善を行う。CBTについてはランダム出題による不公平を解消するために難易度調整システムについての継続的な改善を行う。

- ② 各大学におけるCBT実施用サーバーおよび端末等の状況に応じて、必要なソフトを継続的に開発する。

また、OSCE成績評価ソフトを改善するとともに、CBTとOSCEの試験成績を統合して一括管理するシステムの検討を行う。

- ③ 将来にわたって共用試験を安全かつ簡便に実施し、成績の管理・返却を迅速に行うための電子化システム開発のための調査研究を行う。

4. 研修・出版・広報活動事業

(1) 研修事業

- ① CBTを安定的に実施していくためには、常時3～4万題の良質な試験問題のプールとその継続的な入れ替えが必要である。このために、大学教員の問題作成能力の向上を目指して各大学で開催される問題作成講習会等を引続き支援する。

- ② OSCEの標準的な評価を行うためには、一定水準のOSCE評価者の育成が不可欠で

ある。このために、OSCE評価者育成講習会等を開催する。

- ③ 共用試験の円滑な実施のための教職員を対象とした研修・講習会を継続的に開催する。

(2) 出版・広報活動事業

- ① 教職員の理解と学生の学習の参考とするためにCBT例題集の内容を充実させた改訂版を発行する。また、問題作成マニュアル平成21年度版を作成する。
- ② OSCEへの理解を深めるための標準課題・評価法を解説する案内書の改訂版を作成する。
- ③ 共用試験の導入に至った経緯，意義，経過を含めた「共用試験」案内冊子の改訂版（平成21年度版）を発行し，学生，医療系大学の学部・学科等の教職員及び医療関連機関や一般社会等へ配布する。
- ④ インターネット・ホームページURL <http://www.cato.umin.jp>を通じて，社団法人としての研究資料収集や事業活動の情報公開・提供の促進を行う。また，参加各大学・学部等との専用情報連絡網を構築する。

5. 国際協力事業

- (1) 諸外国との間で大学間の共通評価試験についての情報収集を行う。
- (2) 国際的な情報発信のために，共用試験の前提となっているモデル・コア・カリキュラムの英文化作業を進める。

6. 社団法人組織・活動の基盤強化をはかる事業展開

前年度に引き続き，社団法人としての組織・活動の基盤強化を図るために，理事会を核とした活動を推進する。そのために理事会の下部機関として次の委員会を設け，基盤強化を図る。

- (1) 共用試験実施委員会
- (2) 共用試験事後評価解析委員会
- (3) 共用試験制度・システム開発委員会
- (4) 共用試験広報・推進委員会